

コロナウイルスの影響によるNPO活動についての調査

実施団体：富士市NPO協議会

1. 回答団体数16団体

2. 活動年数を教えてください

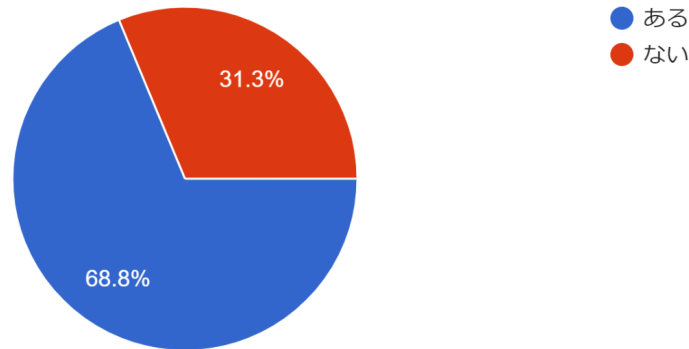
- ・10年未満 6団体
- ・15年未満 5団体
- ・20年未満 3団体
- ・20年以上 1団体

3. 活動内容を教えてください

- ・保健所による猫の引取り・殺処分ゼロをめざす / ・個別相談等 / ・医療教育
- ・子ども・若者の居場所づくりおよび生活困窮家庭の個別的支援
- ・青少年の健全育成 / ・馬の振興及び育成事業
- ・総合型地域スポーツクラブ、障がい者スポーツ教室、まちづくりセンター講座の企画運営
環境整備、福祉慰問活動、観光(和太鼓など)
- ・相談事業 / ・児童発達支援・放課後等デイサービスの運営が主となります。
- ・表現の自由に関する啓発活動 / ・高齢者介護事業
- ・障がいのある方とそのご家族が「地域で当たり前暮らし！」を実現する社会づくり
をめざし活動しています。
- ・カルチャー講座事業(9講座 体操 華道 アメリカンフラワー 料理 絵画
フライングディスク 茶道 コーラス よさこい)
- ・パワーアップ事業(障害者の企業就労の推進 就労継続支援事業所に障害者の障害者の
工賃アップ 就労支援を通じて障害者が自立を図れるよう活動)
- ・ふれあい事業(会員の親睦の場)
- ・他の福祉団体との交流・福祉制度の勉強会・福祉事業所説明会・防災学習会等開催
- ・まちづくり活動、賑わい創出
- ・子育て支援者、妊婦や子育て家庭向け講座
- ・産前産後サポート事業「ママのおうち」/ 子育て支援ネットワーク
- ・障害等相談事業、介護相談、災害支援、介護アロマ

4.その活動について、コロナウイルスの影響はありましたか？

16件の回答



5.「ある」と答えた方は、コロナ前と後でどのような変化がありましたか？

- ・研修開催ができない
- ・活動資金の大きな柱だった講演会(年30~40本)がほぼゼロになり、謝金収入が激減
- ・集会が開催できず、活動に制限がある

- ・大会を開催するためコロナ関係の対策を行う。
- ・事業開催が出来ない為、収入減、会員減。
- ・イベント中止 ・オフラインのイベントの開催が難しくなったこと。

- ・感染対策の徹底、ご家族面会の制限、外出行事の制限など
- ・緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置下では、基本的に事業を中止した。

- ・カルチャー講座事業は、会場の使用停止、人数制限により新たな会場探し、分散開催
- ふれあい交流事業は、企画内容を変更し、密を避けた行事内容で開催
- ・月次支部役員会は、会場の利用定員に応じ、参加人数を縮小して開催
- ・全国・地域・県育成会大会は中止、またはZoomと会場との2元開催

- ・収入の減少
- ・集合型の講座がやりにくくなった

6.「ない」と答えた方はその理由をお書きください

- ・捕獲・引取保護依頼は、相変わらずです
- ・最近は、人が集まる、場所を借りる等の活動をしていないため、オンラインで対応できた。
- ・コロナなど関係なく前に進むしか道がないから。

・障害福祉サービスはエッセンシャル事業であり、コロナ禍においても原則開業しなければならない。所内においても感染対策を講じ、また市内の病院より感染対策防止の講座などを開いてもらい徹底を図り、現在も良好な運営に努めている。

- ・常に活動している為

7.「ある」と答えた方、コロナ後に変わったことで困っていることを教えてください

- ・活動資金の確保
- ・三密を避けるための活動制限
- ・コロナの対策や観客を無くすことなど
- ・マスク着用の義務化、ソーシャルディスタンス確保で接触し競技ができない。

- ・運転資金や会員の活動意識
- ・新規の支援者・協力者との関係づくりの機会が減ったこと。

・入居型施設のためコロナ前は行事として外出を定期的に行っていたが、コロナ禍では行えていない。流行期にはご家族様との面会を制限せざるを得ない。現在施設内で感染発生はしていないが、万が一発生すると事業所全体でクラスターになる可能性が高く、その場合自宅待機になる職員が複数出ると施設運営が立ち行かなくなる可能性があるなど、人員確保の面で不安がある。

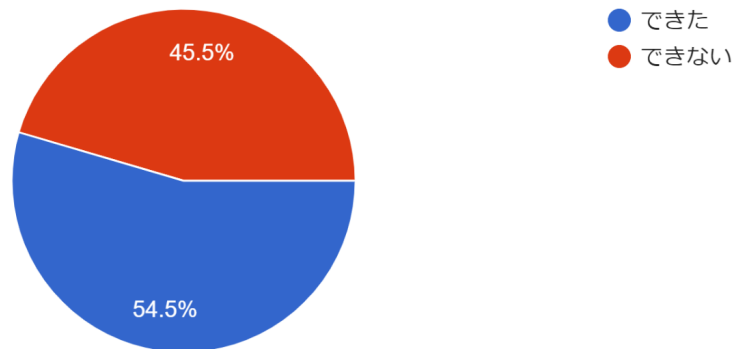
・全会員が一同に参加する総会や親睦交流の場が開催出来なくなり、会員間の情報交換が薄らぎ、その情報の集約も行いにくくなっている。

・運営しているNPOセンターの利用者が減り、印刷サービスの利用が激減した。利用者数が回復しないと収入が減ったままとなってしまう。

- ・オンライン講座の集客

8.「ある」と答えた方、その問題は自分たちで対応できましたか？

11件の回答



9.「できた」と答えた方、その具体的な対応方法をお書きください

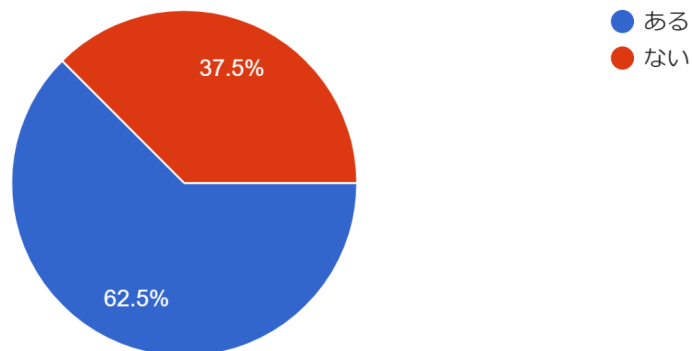
- ・寄付金、表彰副賞、ふるさと納税型市補助金、ふるさと納税型県補助金、民間財団助成金など
- ・備品の購入や関係者の努力
- ・コロナ対策の消耗品を購入した。
- ・オンラインのコミュニケーションの方法を工夫することで、何とか対応している。
- ・担当者が知恵を出し合い、会場探しや行事内容の変更を模索し
- ・開催に結び付けることが出来たものもある。
- ・各会員の人脈、ネットワークを使ってPRをお願いした

10.「できない」と答えた方、なぜ対応できていないのかその理由をお書きください

- ・受講者、指導者の所属施設のルールや行政のルールなどによって、研修に必要な場所と人材を確保できなくなった
- ・公共施設を利用している限り、その指示に従うことになる。民間施設利用は会費を上げる必要がある。
- ・自治会や行政との協議に困難が生じた
- ・人員確保の面のみ、現在も対応検討中。人員に制限がある為。
- ・印刷収入は、利用枚数に完全に比例しているため。

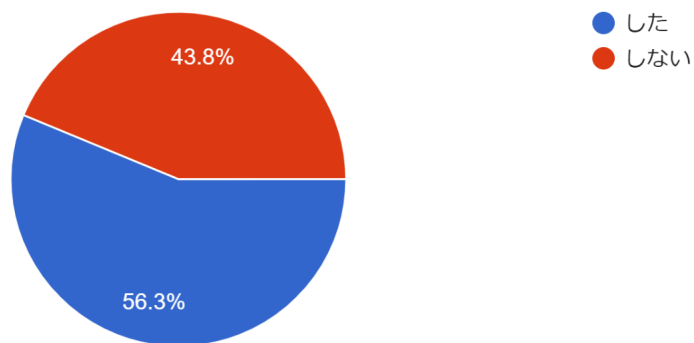
11. 団体の収入に影響はありましたか？

16件の回答



12. コロナウイルスの影響により受けられる助成金や支援金などを申請しましたか？

16件の回答



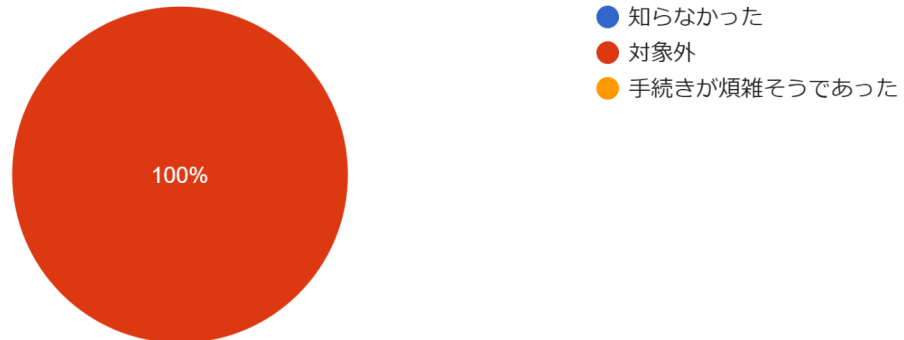
13. 「した」と答えた方はその名称をお書きください

- ・持続化給付金
- ・SOMPO福祉財団住民参加型福祉活動資金助成、静岡県子どもの居場所感染症対策事業費補助金
- ・スポーツ活動継続サポート事業
- ・事業継続化給付金
- ・住友生命健康財団 2020年度 スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム、(公財)ライフスポーツ財団の助成金 ・活動給付金

- ・静岡県新型コロナウイルス対策 NPO応援金
- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金
- ・介護サービス事業所・施設における感染防止対策支援事業費補助金
- ・税理士に任せてます

14. 「しない」と答えた方はその理由を次の選択肢からお選びください

7件の回答



15. 今後活動を継続していくうえで必要なことをお書きください

- ・役員等活動メンバーへの事業継承
- ・オンライン非対面对応の拡充
- ・コロナと共存できる環境の整備
- ・目指す方向の障壁となっている教育委員会・学校を変えること

- ・資金援助
- ・スポーツ活動継続サポート事業等の活用出来るサポート費を増やしてほしい
- ・収益事業の検討する
- ・活動の再構築と資金援助

・まずは、個々の体調管理だと感じます。当方に通っている方は児童が主になります。例えば通われている児童が元気であったとしても、ご家族の方が一人でも体調が悪い場合はお休みをいただいています。また日頃より、就寝時間や起床時間を含め、前日入浴や洗髪、歯磨きなど、細部に渡りチェックをすることが必要であると感じており、利用する時に必ず提出するように求めています。この項目は、現利用している児童の保護者様からいただいた意見であり、事業所だけではなく、保護者様との協力のもとに成された感染防止対策であると思っています。このような対策をご家族様と共同していくことが、今後の活動にストップをかけず運営していけることだと感じています。

・海外からの寄付の割合が相対的にあがってきたため、外国の人からも理解しやすい情報発信を工夫していくことが必要と考えている。

・感染対策に係る経費の支援、感染症発生時における人員確保支援

・今後も今回のようなパンデミックが起こりうると思われることから、今回培った経験を更にブラッシュアップして、会員全体で活動を盛り上げる意識改革が必要。事態の収束以外にありません。

- ・中間支援組織からのサポート・ネットワーク・行政との良い関係性・助成金等の情報
- ・初心の気持ちを忘れずに活動